

平成29年5月31日(水)
国土交通省 関東地方整備局
千葉港湾事務所

記者発表資料

劔崎南東方沖に大量に漂流していた流木約55本を「べいくりん」が回収

国土交通省関東地方整備局千葉港湾事務所は、平成29年5月29日(月)10時34分に、海上保安庁の緊急情報配信サービス(MICS)から劔崎南東方において木材の漂流、周辺航行船舶注意情報を受信しました。

東京湾は船舶の交通量も多く、ひとたび事故が起きれば海洋環境や日本経済に大きな打撃を与えかねません。そこで、漂流した流木と船舶の衝突事故を未然に防ぎ、航行の安全を確保するため、清掃兼油回収船「べいくりん」(千葉港湾事務所所管)を急遽当該海域へ派遣し、12時に現場海域に到着、直ちに大量に漂流していた流木(角材)約2m³の回収を行いましたところ、御報告申し上げます。

(別添1)

※「べいくりん」は、航行船舶の安全性の確保と海洋環境保全のため、漂流物の回収を行うと共に、油流出事故など災害発生時の油回収等を行う船舶です。

(別添2)

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、
千葉県政記者会、千葉市記者クラブ

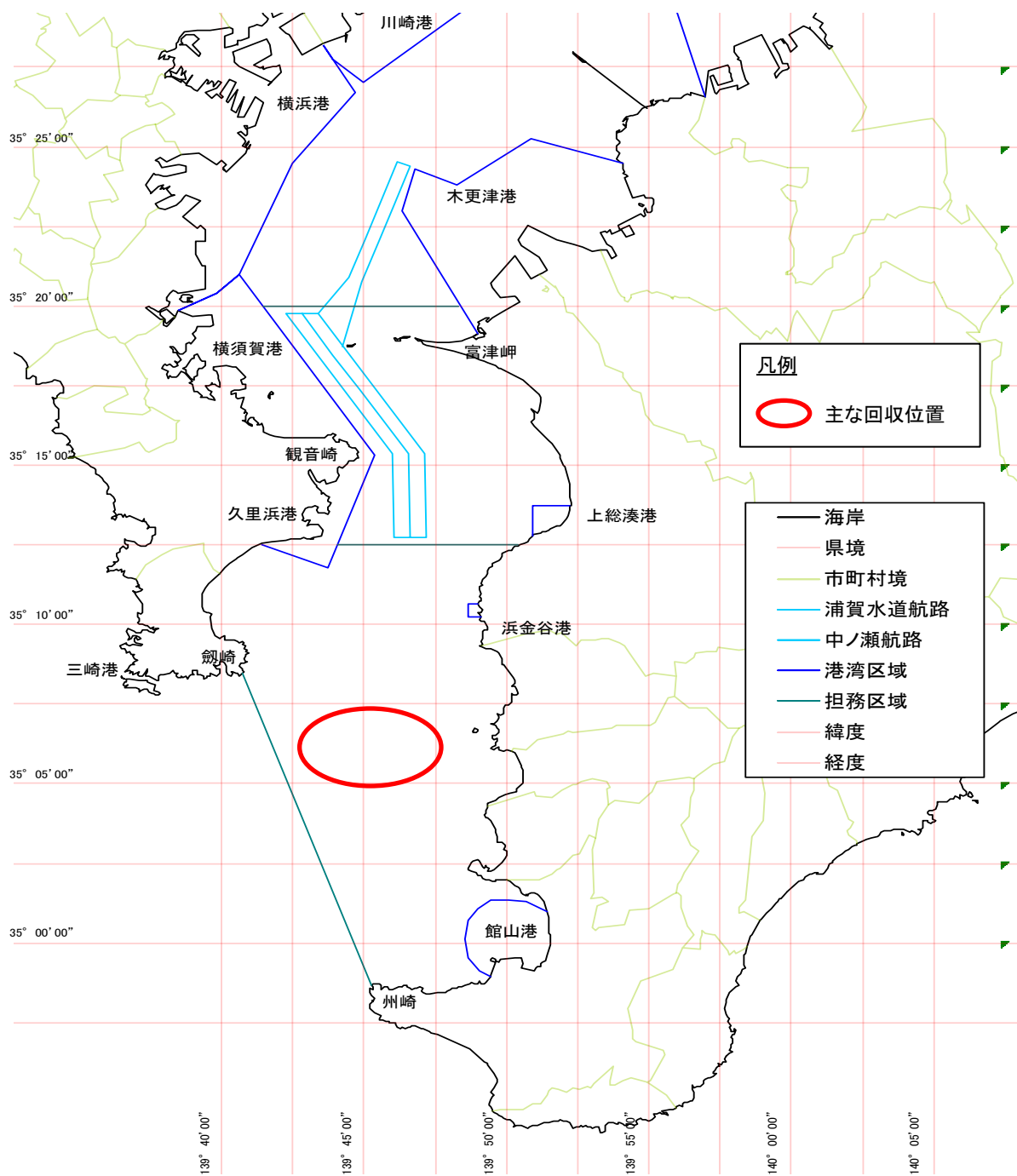
問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局千葉港湾事務所

副所長 蟻川 辰美 (ありかわ たつみ)
海洋環境・防災課長 狭間 松博 (はざま まつひろ)

電話 043-243-9172 FAX 043-243-1939

劔崎南東方沖における「べいくりん」による流木の回収状況



■回収実績

サイズ	本数
10cm × 10cm × 4.0m	30本
10cm × 10cm × 3.5m	15本
10cm × 3cm × 2.0m	10本



漂流する流木



流木をスキッパーにて回収



回収した流木

清掃兼油回収船「べいくりん」の概要

関東地方整備局 千葉港湾事務所 所属



「べいくりん」
全長:約32.5m
全幅:約11.6m
総トン数:約199トン



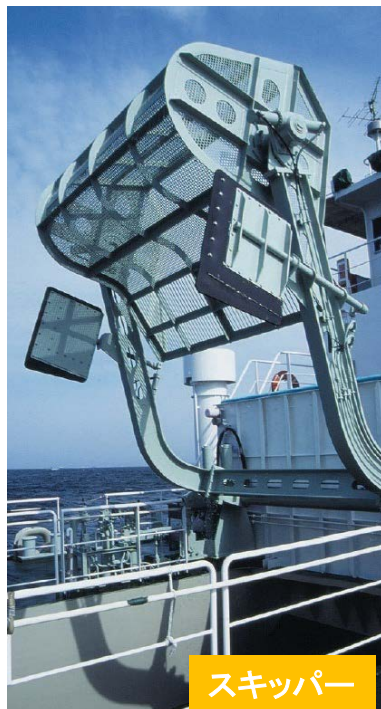
“べいくりん”の業務

「海洋環境整備事業」の一環として、東京湾の一般海域において「浮遊ゴミの回収」や、東京湾の環境メカニズム解明のために、「水質及び底質の調査」を定期的に行っています。

また、油流出事故や、大地震などの災害が発生した場合には「浮遊油の回収」や「航路の啓開」を実施します。



油回収器



スキッパー



ゴミコンテナ



多関節クレーン

東日本大震災時の活動

震災直後には地震の揺れにより、千葉県市原市の製油所のタンクが破損したことにより流出した油の回収作業に当たりました。

また、海上物流拠点の仙台塩釜港や石巻港周辺海域で約1ヶ月間、がれきの撤去作業を行いました。